

## 令和元年度 第1回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録（要点筆記）

日 時：令和元年6月21日（金） 13時30分から14時10分

場 所：江別市民会館 23号室

出席委員：澤井秀座長、田口智子座長代理、粕谷堅一郎委員、伊藤留美子委員  
龍田昌樹委員、小関堂寛委員、東條大輔委員、大鹿琢委員  
井上智委員、菊地秀人委員、林武志委員（計11名）

オブザーバー：守山英男（石狩振興局地域創生部長）

欠席委員：吉田岳夫委員（計1名）

事務局：企画政策部北川部長、政策推進課堂前課長、金森参事、  
中島参事、天明屋主査、山口主任

傍聴者：1名

### 会議概要

#### 1 委員の紹介

#### 2 開会

3 議事（1）平成30年度江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（地方創生推進交付金及び拠点整備交付金）実績報告について、事務局説明

##### ○澤井座長

地方創生推進交付金及び地方創生拠点整備交付金の事業は、もう少し力を入れなければならないKPIがあると思うが、全体的には順調なものが多い。

事務局からの説明に対し、意見等のある委員は発言願う。

##### ○龍田委員

確認だが、「食＝江別の魅力！！」地域資源を活かした江別産品販売促進プロジェクトの事業KPIである主要観光施設入込客数の主要観光施設5施設とはどの施設を指すのか。

##### ○事務局

セラミックアートセンター、町村農場、旧町村農場、トンデンファーム、江別河川防災ステーションの5施設である。

地方創生推進交付金の事業を開始する際の江別市の主要観光施設はこの5施設だったことから、5施設で開始したが、現在はアースドリーム、EBRIを追加して7施設で指標を取っている。

##### ○田口座長代理

有給インターンシップ等地域就職支援事業と【ジモ×ガク（地元×学生）】～学生地域定着自治体連携プロジェクトは、共に就業に直結することが最も望ましいと思うが、江別市では就業と連結する仕組みなど検討されているのか。

○事務局

【ジモ×ガク（地元×学生）】～学生地域定着自治体連携プロジェクトは、これまで学生が地域のイベントの手伝いを行うことが多かったが、イベントの手伝いは一時的なものであり、地域の定着に結びつく可能性は高くないため、昨年から有給インターンシップ等地域就職支援事業に力を入れており、各地域のインターンシップの取組に活動をシフトするよう方向転換を進めている。

有給インターンシップ等地域就職支援事業については、江別商工会議所に協力をさせていただき、市内企業にPR活動などを行っており、登録する事業者が増えるよう働きかけている。

○田口座長代理

了。

○澤井座長

有給インターンシップ等地域就職支援事業は江別市内、【ジモ×ガク（地元×学生）】～学生地域定着自治体連携プロジェクトは江別市だけではなく近隣8市町と連携した事業なのか。

○事務局

有給インターンシップ等地域就職支援事業は江別市内での取組であり、【ジモ×ガク（地元×学生）】～学生地域定着自治体連携プロジェクトは江別市、南幌町、長沼町、栗山町、由仁町、三笠市、芦別市、赤平市の8市町で連携して事業を展開している。

○澤井座長

有給インターンシップ等地域就職支援事業に活動をシフトしているという話だが、これは江別市の話であり、近隣8市町ではあくまでも【ジモ×ガク（地元×学生）】～学生地域定着自治体連携プロジェクトで力を入れるということか。

○事務局

その通りである。

議事（2）令和元年度地方創生推進交付金事業採択状況について、事務局説明（有給インターンシップ等地域就職支援事業から江別版生涯活躍のまち推進事業までの4事業について）

○澤井座長

事務局からの説明に対し、意見等のある委員は発言願う。

○田口座長代理

資料2の採択状況に記載されている5事業のうち、有給インターンシップ等地域就職支援事業が最終年度であり、他4つの事業は継続される事業なのか。

○事務局

地方創生推進交付金は3年間であるため、有給インターンシップ等地域就職支援事業と【ジモ×ガク（地元×学生）】～学生地域定着自治体連携プロジェクトの2事業が最終年度となる。

○田口座長代理

15年以上前から就業力支援などで産学官連携の採択事業が行われてきたが、その事例を見ても最終年度以降の継続的な自立事業としてどのように成り立たせるかは難しい問題が

ある。この2事業に限らず最終年度を迎えた事業は今後どのようにするかを含めた上で、今年度計画されていることはあるか。

○事務局

地方創生推進交付金は3年をひとつの期限として定められている。来年度以降は市の単独事業として行うか、他の補助金を申請することになる。

現時点では未定だが、地方創生推進交付金を利用して事業を行う場合、これまでの事業の取組を高度化して再構築した事業内容で国から認めていただき、さらに3年更新して事業を続けることも考えられる。

○田口座長代理

了。

令和元年度地方創生推進交付金事業採択状況について、事務局説明（移住支援事業について）

○澤井座長

マッチングサイトの開設は8月から開始ということだが、上手く機能するか。

○事務局

北海道から商工会議所などに直接話がいつていると思われ、そこで地元の企業がどのくらい求人を出していただけるかが重要である。PRが上手くいくかも含めてマッチングサイトが立ち上がった時点で確認していく。

○田口座長代理

全国ではこれまで様々な展開があったと思うが、過去の事例で参考になる数値はあるか。

○事務局

各自治体で行っているものに関する実績はおさえていない。また、国全体で移住に関する支援金は今回の事業が始めてである。

○田口座長代理

了。

議事（3）まち・ひと・しごと創生基本方針2019について、事務局説明

【質疑なし】

議事（4）その他

【質疑なし】

4 その他

【質疑なし】

5 閉会